

ごみの分別、もう迷わない

～ごみ分別辞典の発行～

12月7日(火)から登別市衛生団体連合会が発行する『ごみ分別辞典』の市内世帯への配布が始まりました。

このごみ分別辞典は、ごみの減量化や再資源化などに役立ててもらおうと登別市衛生団体連合会が、各連合町内会から推薦された22人の作成委員の協力を得て作成したものです。

掲載内容は、約1,800品目についてのごみの分別区分、排出するごみ袋の色のほか、家電リサイクル法に基づく廃家電、家庭系パソコンなどのリサイクル方法なども詳しく紹介されています。

なお、ごみ分別辞典は、町内会等を通して市内全世帯を対象に配布されましたが、町内会等未加入などでまだ受け取っていない方は、市民課（市役所1階2番窓口）または各支所窓口で配布していますので、お申し出ください。

▶ごみ分別辞典に関するお問い合わせ 環境資源課（クリンクルセンター内 ☎ 2958）



◀編集に取り組む作成委員のみなさん



▲ごみ分別辞典

北極点に向かって歩む ～和泉雅子さん講演会『笑ってよ 北極点』～



12月1日(火)、市民会館で文化講演会（文化・スポーツ振興2004実行委員会主催）が開かれ、女優で冒険家の和泉雅子さんが『笑ってよ 北極点』と題し、北極点を制覇した体験談を語りました。

昭和58年にドキュメンタリー番組の取材で南極に行ったのをきっかけに、和泉さんの北極点への挑戦が始まります。昭和60年に北極点を目指し、途中で断念。平成元年に再チャレンジし、見事、北極点に到達しました。日本人女性として初、世界で2人目の快挙です。

講演では北極点を目指すことになったきっかけや過酷な踏破行の模様を、ユーモアを交えて披露。夢をあきらめず、コツコツと懸命に取り組めば、夢はかなうと力説し「皆さんも自分の北極点に向かって歩んでほしい」と来場者約450人に熱いエールを送りました。

道行く人を光で魅了！ ～シンボルオブジェ『光のしずく』点灯～

12月11日(土)、登別地区のまちづくりに取り組む『登別まちづくり促進期成会』がJR登別駅前に設置したシンボルオブジェ『光のしずく』が点灯しました。

同期成会によるシンボルオブジェの点灯は、今年で6回目で、3年前から『光のしずく キラキラマチに』をメインテーマに光のしずくをかたどったシンボルオブジェを点灯。今年はサブタイトルを『WAVE』とし、シンボルオブジェを抱くように色彩豊かなイルミネーションとロープライトを波のようにあしらいました。

光のオブジェは、2月13日(日)まで点灯され、観光客や市民の目を楽しませます。

